訓練 弟子たち 修行

セッション 20: 弟子を選ぶ(9c)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **ガラテヤ人への手紙 6:1-2**

1 兄弟たちよ、もし誰かが何か罪に陥ったなら、それは霊的なあなたたちです。
優しい精神で彼を回復させるべきだ。
自分も誘惑に負けないように気をつけて。
2 互いの重荷を背負い合い、それによってキリストの律法を成就しなさい。

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* **– ガラテヤ人への手紙 6章**

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. フィリップスは、弟子は教えられることがあり、脆弱で、心を開いていなければ霊的に成長できないと私たちに思い出させてくれます。

二. 著者は、死者が神とその指導者に対して取る唯一の適切な反応は喜びと積極的な服従であると書いています。

三. 私たちは、子孫を通じて神の御教会(王国)を拡大するという神の計画を成就する弟子造り者となる過程の四つのステップを学びます。

四. 訓練のために誰かを勧誘する際には、聖霊だけが弟子関係に召されるということを心に留めておいてください。

五. 期待されるものを定義することは、弟子関係を含むあらゆる関係において重要です。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*

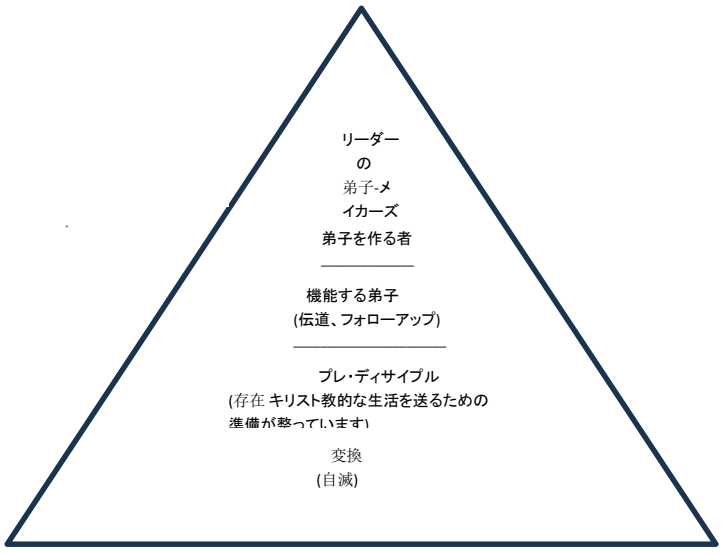
著者による第9章c(キース・フィリップス):

潜在的な弟子は積極的にあなたに服従しなければなりません。積極的な服従は、単なる従順や受動的な服従とは正反対です。それは、自分の成長に影響を与える分野で主体的に行動することです。弟子は成熟へ導かれるために、指導者の導きを熱心に求めなければなりません。彼は、本来隠されたままになり得る領域において、透明で脆弱であることを選ばなければなりません。エペソ人への手紙4章15節には、私たちは皆、キリストにおいて成長するために愛によって真実を語らなければならないと書かれています。弟子は自分の悲しみや失敗をすぐに分かち合います。ヤコブ5章16節はこう教えています。「ゆえに、互いに罪を告白しなさい……」そうすれば癒されることができる……」と。彼は自分が何者であるかを隠すことで自分を守ろうとはしません。あなたが彼の重荷を負うことはできません。彼がそれを分かち合わなければ(ガラテヤ人への手紙6:2)。自分の苦しみを伝えられないことは、彼が神の基準を本気で知りたくないか、それに従って生きることを選んでいないことを示しています。ある友人は欲望と苦しみました。ゲットーでの露骨な奔放さが彼を完全に打ちのめしたのです。彼は純粋な心と清らかな心を保つために神に約束をあまりにも破り、習慣的な嘘つきのように感じていました。サタンは告白は指導者としての責任を失い、活動が厳しく制限されることを強く強調しようと必死でした。しかし、告白も浄化も勝利もなしに続ければ、自分の有用性を失い、他人に肉欲を増やすことになると彼は知っていました。ついに彼は、この戦いを一人で勝てないことに気づきました。

彼はどんな代償を払っても、キリストに似た者であることを望むと決意しました。彼の責任は制限され、自由は制限され、プライドは大きな打撃を受けました。しかし、厳格な責任追及、定期的な励まし、そして多くの祈りを通じて、神は彼に勝利を与えました。今日、彼は清らかであり、成功裏に奉仕しています。難しい領域を明らかにすることで、あなたの弟子は自らの成長を継続させ、あなたへの信頼を示すでしょう。彼が積極的に服従すればするほど、受けられる訓練の質も高まります。積極的な服従は彼の霊的健康にとって不可欠です。死者が神と弟子に対して唯一適切な応答は、喜びと積極的な服従です。その従順を基に、人生のあらゆる面で責任を持たせると、あなたの弟子候補に約束してください。パウロはアルキッポスに責任を問いました:「...主において受けた働きを必ず完成させなさい」(コロサイ人への手紙 4:17 NIV)。すべての弟子は、他者に対して責任を持つことでより大きな成長を経験します。個人的には、誇りをかき立てたり恥をかかせたりすることなく、称賛や励まし、挑戦、戒めをしてもよいのです。キリスト教の生活は規律にかかっており、それはあなたが弟子に責任を持たせることでのみ育まれます。パウロはテサロニケ人たちに、規律ある生活様式の模範に従うよう励ましました(テサロニケ人への第二3章7節)。新しいスタッフの多くは長年信者でしたが、聖書の勉強、聖書の暗記、黙想、祈り、礼拝を日常生活に取り入れていなかったのです。しかし、これらの分野で責任を負う一対一の関係に身を捧げたとき、神へのより深い献身と健全なキリスト教共同体が生まれました。

ビジョンを伝える

あなたの潜在的な弟子には、自分がプロセスの一部であることを理解してください。まず、イエスの命令に従うために、彼は自分自身に死をもって従うことを条件にしました。次に、弟子になる前の関係が彼をキリスト教的な生き方に備えさせました。あなたは今、彼を実働的な弟子として招き入れています――伝道活動や、別の者の弟子訓練に関わるように。彼がキリストの中で成長するにつれて、弟子を作る者となり、実際に自分の人生を別の弟子に捧げる者となるでしょう。最後に、弟子が他の弟子を弟子として育て始めるとき、彼は弟子を作るリーダーとなるでしょう。



あなたの関係は、弟子の私生活における霊的な健康を提供するためだけではありません。弟子はその人自身の目的ではなく、神が繁殖を通じて教会を拡大するという壮大な計画の中の一環なのです。彼は残りの人生を他者に投資し続けるでしょう。

彼に決めさせてあげて

弟子訓練の意味を十分に説明した後、その志望者に、そのような約束をすることについて1～2週間祈る時間をかけてもらいましょう。無理に前向きな反応をさせようとしないでください。彼に決断する自由を与えることが非常に重要です。聖霊だけが人々を弟子関係に呼びかけます。もし彼がこの約束に準備ができていないなら、彼に時間を費やし始める前に知っておくのが最善です。弟子を選ぶ際には、これら一つのステップを必ず守ることの重要性を強調しすぎることはできません。弟子訓練を始めたいと熱く思っているかもしれません。それは称賛に値しますが、その熱意は忍耐といえばなりません――神の時と神の御性を待つこと。残念ながら、私は一度はこれらのステップの一つ一つを怠ってしまい、そのたびに私の働きを短絡させてしまいました。ある人は、忠実さ以外の弟子のあらゆる特徴を示しました。私は彼を助けられると確信し、神の基準を妥協しました。私たちの関係は十八か月間続き、彼の不誠実さが耐え難いものとなりました。また別の時には、ある男の心が正しいと確信しすぎて、祈りを通じて神の確証を求めることを怠ってしまいました。この「理想の弟子」は二ヶ月で消えてしまいました。弟子にしてほしいと申し出た何人かは、非の打ちどころのない資格――立派な学位や豪華な推薦状――を持ってやってきました。私は以前、彼らがキリスト教的献身を生きる姿をまず見ることを強く望むのが恥ずかしかったのです。しかし私たちの関係は必然的に弟子訓練前段階であり、キリスト教の基礎を学ぶ未熟な信者を育てることになりました。この危険は、学生が自分が弟子訓練を受けていると思い込み、したがって他人を弟子にする準備ができていることです。これは彼の自己破壊を長引かせ、自分の価値は人格ではなくスキルにあるという誤解を強化します。もしあなたが弟子訓練前の関係にあるなら、たとえ弟子になる方向に進んでいるとしても、それをそう呼んでください。ある時、私は何が期待されるかを定義せずに弟子関係を始めました。その人は何が関わっているかは理解していると保証しましたが、決して従順ではありませんでした。彼は弟子として教えられることを望んでいませんでした。責任のない交わりを望んでいたのです。私の過ちからあなたが学んでくださることを祈っています。弟子を選ぶ際にこれらのステップを踏めば、質の高い繁殖の確率は高くなり、あなたが経験する喜びは計り知れないものになるでしょう。

弟子のチェックリスト – 弟子の選び方
____I弟子に対して高い基準を課しました。
____He神を親密に知りたいと願っています。
____Heが利用可能です。
____He従順だ。
____Heは忠実だ。
____He弟子になることを目指している。
____I熱心に祈ってきました。
____I慎重に選びました。
____Iが主導権を握った。
____I招待状を出しました。
____Iその関係性を説明しました。
____Iビジョンを伝えました。
____I彼に決めさせた。

pp. 95-99

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いを祈ります。*

出典: 弟子の形成 キース・フィリップス博士著。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序

文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用されています。
改訂20261012